

第5回 標準委員会 発電炉専門部会
統計的安全評価手法標準分科会 P9SC5
議事録

日時 2006年8月8日（火） 13：30 ～ 17：00

場所 日本原子力技術協会 A・B会議室

出席者 三島主査（京大）、山口副主査（阪大）、笠井幹事（原技協）、江畑委員（JNES）、
工藤委員代理（GNF-J）、越塚委員（東大）、鈴木委員（JAEA）、古川委員（MHI）、
堀田委員（TEPSYS）、松浦委員（原燃工）、松本委員（日立）、本谷委員（東芝）、
森田委員（原電）、山本委員（名大）、綿田委員（関西電力）、渡辺委員（JAEA）

常時参加者 藤井（関西電力）、溝上（東京電力）、米原（原技協）、梅澤（MHI）、
坂場（MHI）、金子（GNF-J）、小野（東芝）、鈴木（原燃工）

傍聴者 原子力安全委員会事務局、電力・メーカー関係者

（敬省略）

配付資料

- 第5回 統計的安全評価手法標準分科会（P9SC5） 議事次第
- P9SC5-1： 第4回統計的安全評価手法標準分科会P9SC4 議事録（案）
- P9SC5-2： 統計的安全評価手法分科会の進め方について
- P9SC5-3： 課題整理表
- P9SC5-4： 日本原子力学会標準 統計的安全評価手法（案）（本文、附属書1）
- P9SC5-5： 附属書2の位置付け
- P9SC5-6： 附属書3 PWRへの適用例の概要（案）
- P9SC5-7： 標準案における用語の定義

議事及び主な質疑応答

(1) 人事について

笠井幹事より、大澤委員の分科会退任が報告された。同業種の東京電力株式会社の阿部氏が委員として加わりたいとの報告があり、分科会として異議がないことが確認された。次回の発電炉部会において三島主査より阿部氏を新委員として推薦することとなり、正式な委員就任はその承認後となる。

(2) 議事録の確認

笠井幹事より、P9SC5-1「第4回統計的安全評価手法標準分科会P9SC4 議事録（案）」により、前回分科会の議事録の確認が行われ、誤記を訂正（出席者に山本先生を含む）することで、承認された。

(3) 分科会の進め方

笠井幹事より、P9SC5-2「統計的安全評価手法分科会の進め方について」により、分科会の進捗確認について説明された。

(4) 課題整理表の説明

笠井幹事より、P9SC5-3「課題整理表」により、前回分科会までに出された課題のまとめの確認があった。

(5) 日本原子力学会標準 統計的安全評価手法（案）（本文、附属書1）

坂場常時参加者より、P9SC5-4「日本原子力学会標準 統計的安全評価手法（案）（本文、附属書1）」により、標準本文及び附属書1に関する説明があった。最適評価モデルや評価結果に対する要求事項（P9SC5-4の頁5の枠内）とCSAUステップとの対応等について議論があった。

(6) 附属書2の位置付け

工藤委員代理より、P9SC5-5「附属書2の位置付け」により、附属書2にEMDAPを取り込む背景と附属書1との対応に関する説明があり、BEコードの妥当性評価に係わる要件を取り込むことで進めたいとの説明があった。EMDAPの標準としての位置付け等の議論があったが、今後、具体的な附属書2の内容を見た上で審議することとなった。

(7) 附属書3 PWRへの適用例の概要（案）

坂場常時参加者より、P9SC5-6「附属書3 PWRへの適用例の概要（案）」により、順序統計法の説明とCSAUステップに従った統計的安全解析手法のPWR/LOCAへの適用例に関する説明があった。

(8) 標準案における用語の定義

松本委員より、P9SC5-7「標準案における用語の定義」により、今までの分科会コメントを反映した用語の定義の変更部分に関する説明があった。

(9) その他

笠井幹事より、次回分科会を10/10（火）午後を開催することの確認があった。標準本文、附属書1及び2の作成方針についての委員コメントを8月中（本日より2週間を目安）に集約することとなった。また、次々回を、12/7（木）午後仮決めした。

以上